

両脚びびりだん

をした 両足太い義足の人の

足と 義足の

せつめい用

しりよ

どうやって
うまいたか?

右足は
ひざのお皿と
ひざ下の前の骨

左足は
ひざ下の前の骨

がないままで
うまれて
きました。

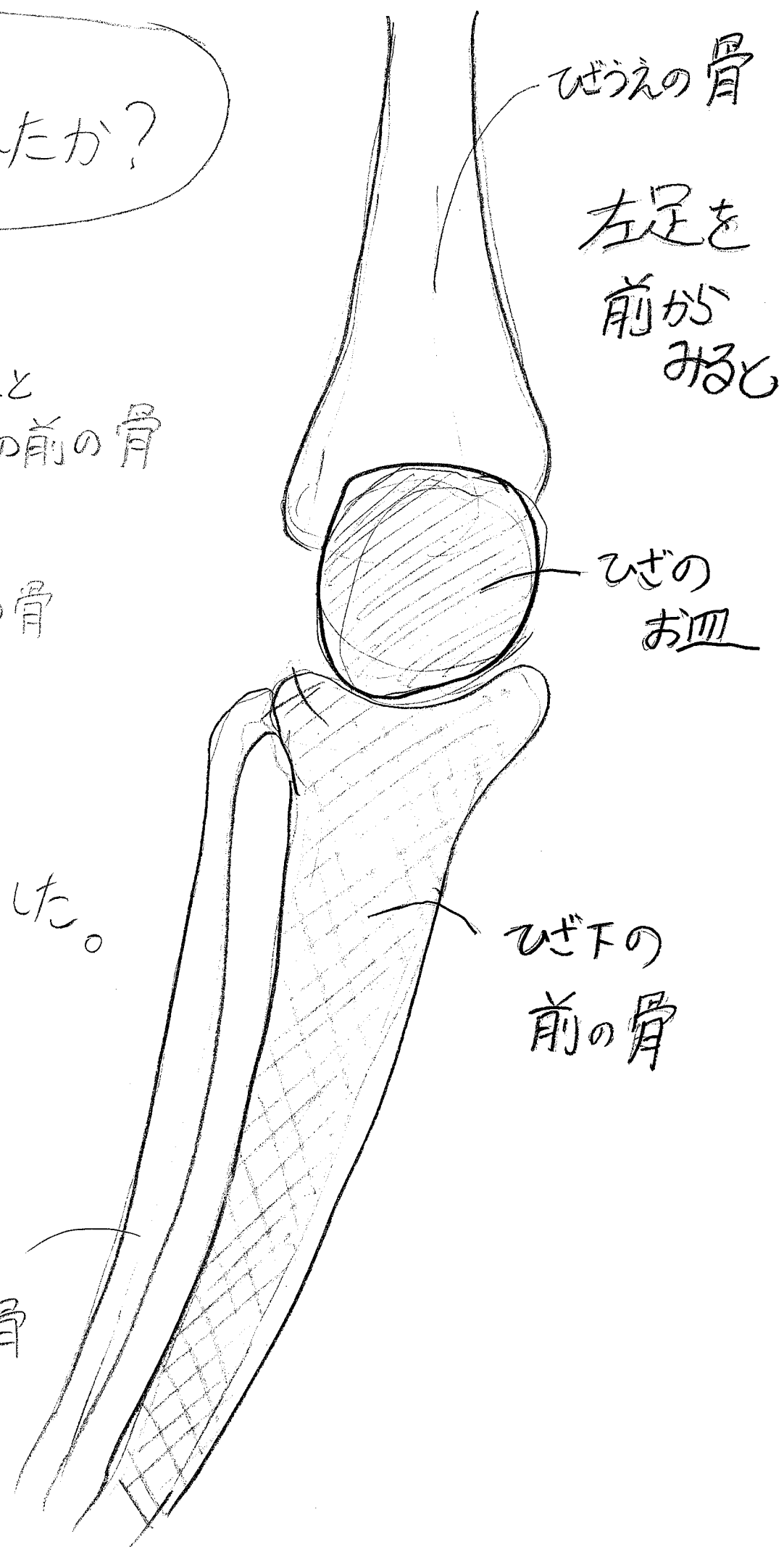
ひざ下の
うしろの骨

ひざの骨

左足を
前から
みる

ひざの
お皿

ひざ下の
前の骨



どうして骨がなかつたの？

生まれつき骨がなかつたのはなぜなのか。

いっしょうけんめいしゃべたけれど、どうしても

わからなかつた。

100万人に1人。今でも同じ病気の子供が

生まれているよ。「ハ骨ハズル病」といふよ。

でも両足ともひざまでしかなくて、義足でふつうに

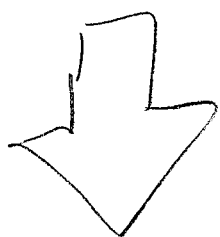
こうして歩いている人は日本でも人もいない。

け、こうすごいんだよ。

どんな足だったか
なぜ足を手術
したのか？

骨がたりないからひざが
ぐらぐらで立てなかつたし
もちろん歩けなかつた。

ひざ下がぶさぶさでいて
ハイハイもおっかしかった。

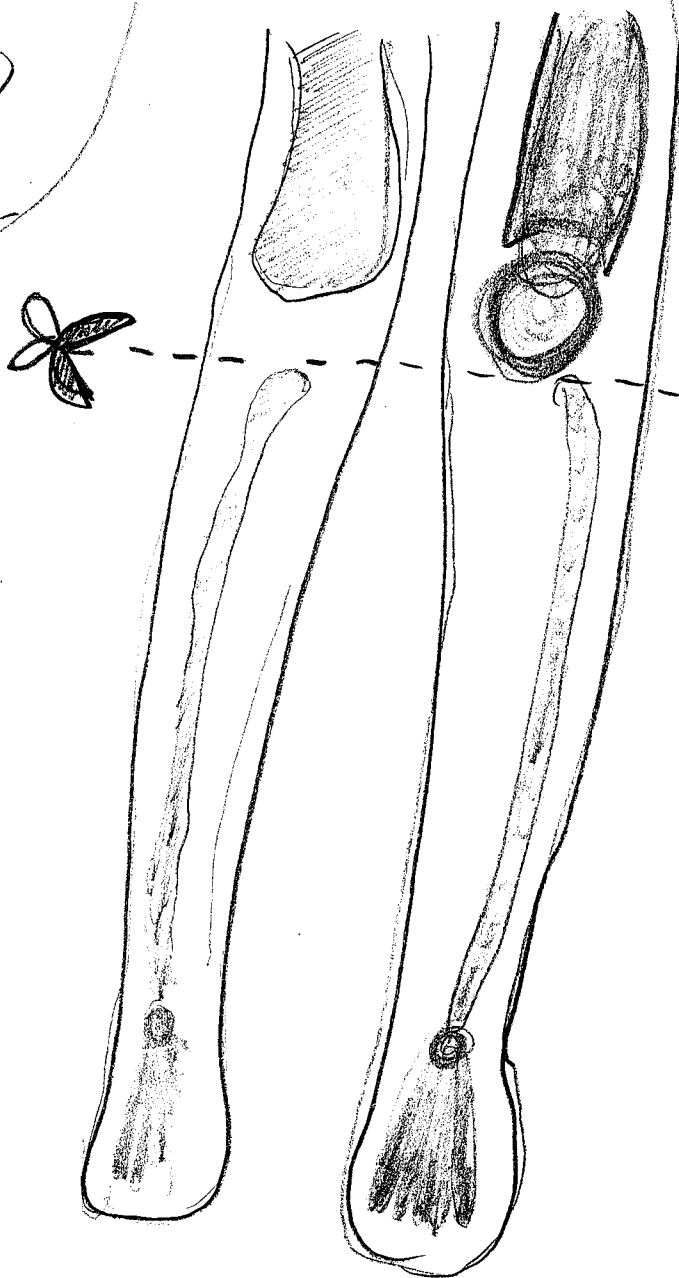


だから点せんのあたりで

手術して歩けるようにした。

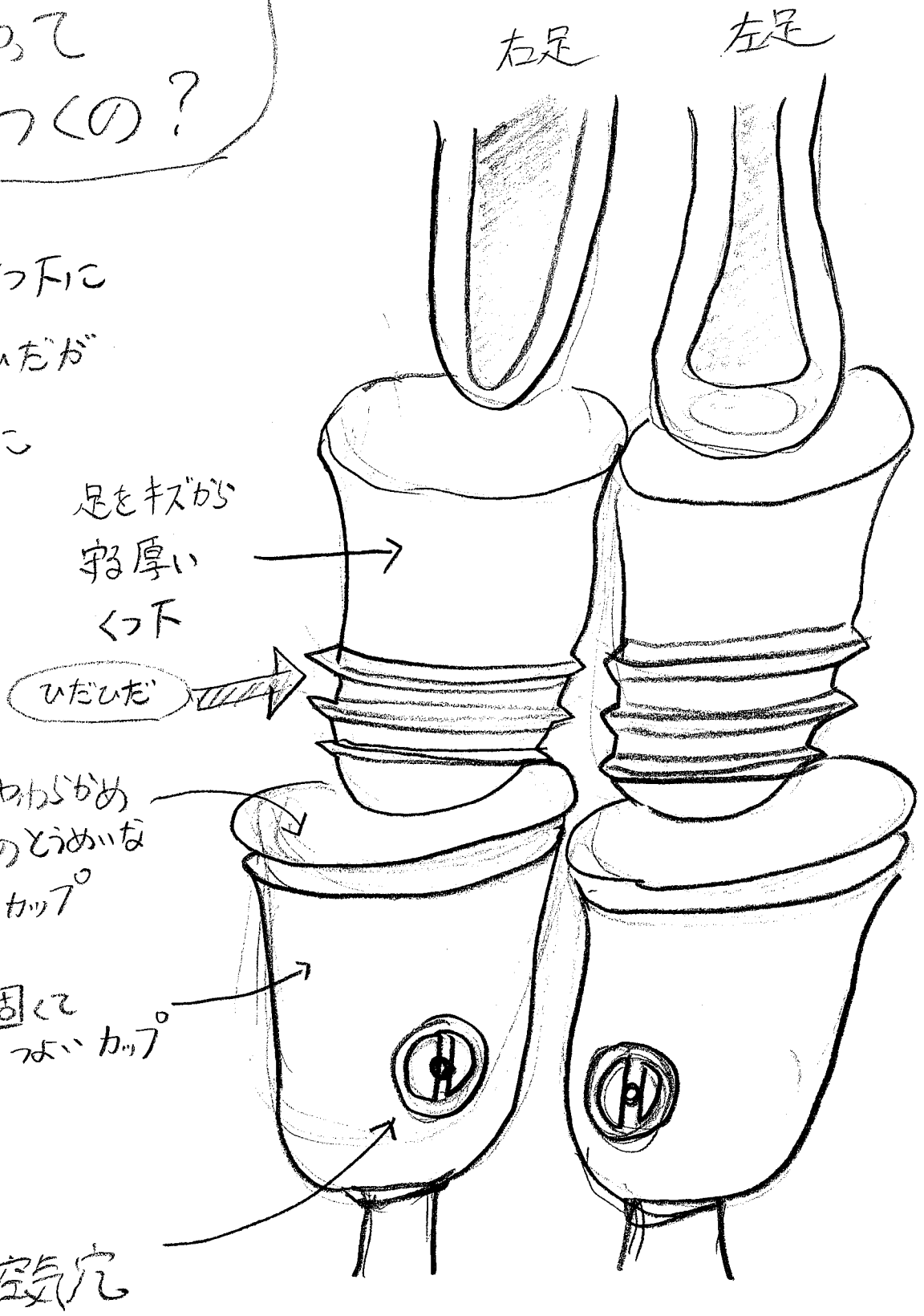
(2さいご)

右足 左足

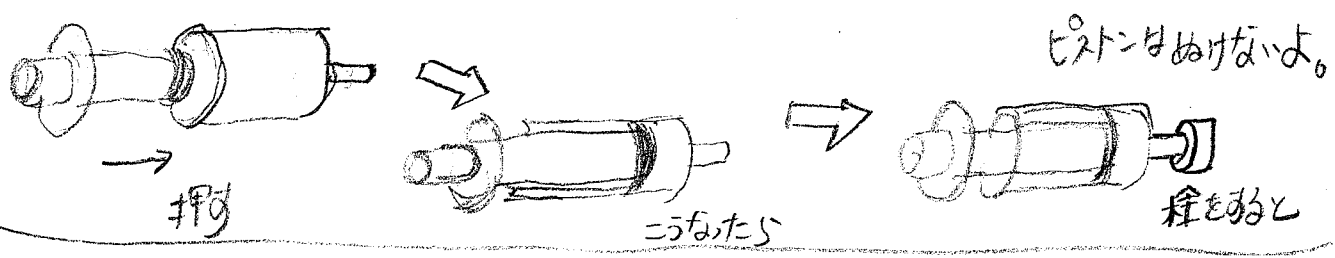


ぎくは
どうやって
くつくの？

足をキズが穿るくつ下に
ついている ひだひだが
カップに入るときに
注し器の
ピストンのゴム
と同じような
はたきき
するので、
はくときに
穴をあけおき
ほきおいた
穴をかきぐと
ぬげなく
なります



<これと同じだよ。>



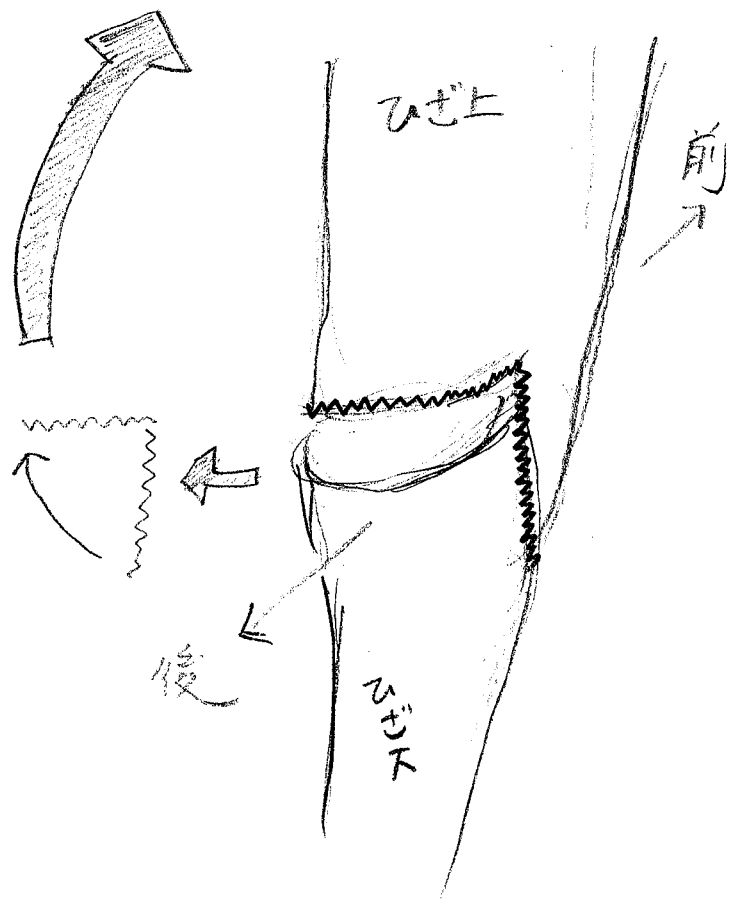
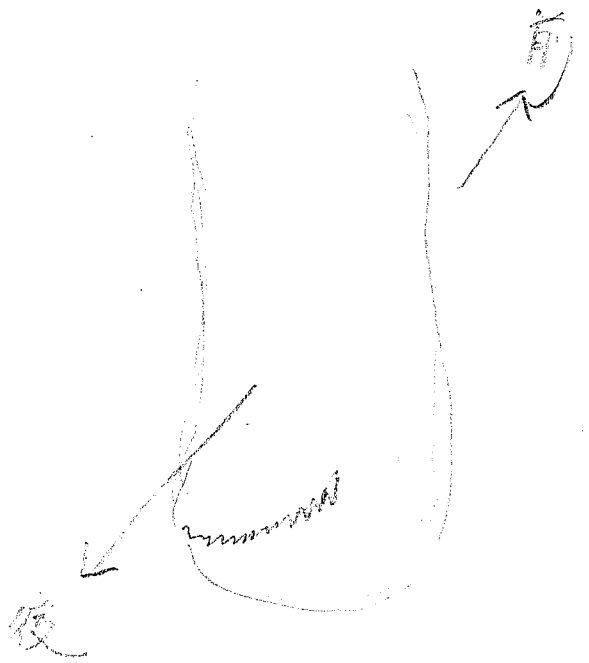
手術のきり口は
どうなっているの？

真後ろ側の足先から3cmくらい
のあたりにぬい目があるよ。

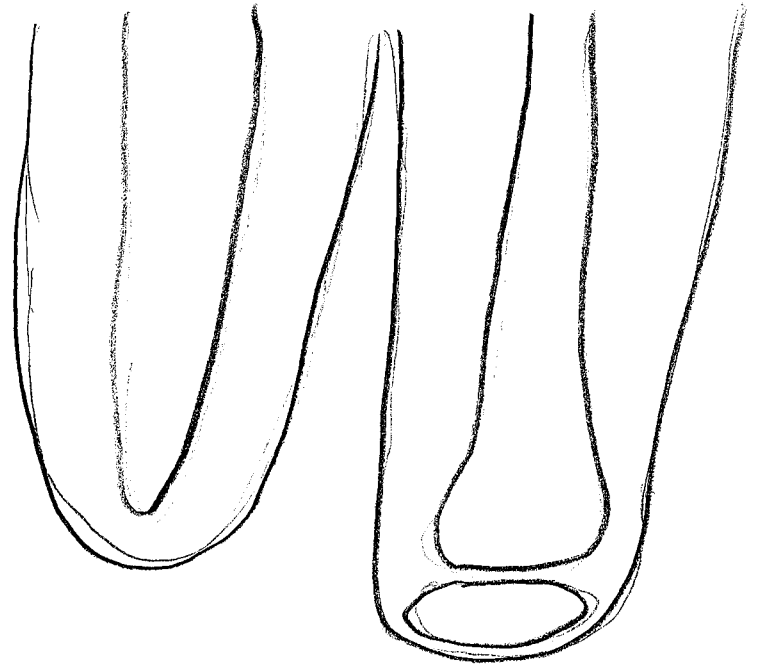
そのほかにぬい目が
あふちが、きり口が

傷みにくいから
えうなるように

工夫されて
いるんだよ。



右足と左足は
どちらがうの？



左足に比べると右足は
ひざのお皿がなかつた分、

図のように先が細くなっていて少しみじかいよ。

みてわかるように 重さを支える力も

義足もめじて左足のほうがあつたよ。

長さも太さも 左足のほうが 長くて太くなっているよ。

その分、義足で ちょうどいい感じだね。

なぜそんなに
背が高いの？

靴をつくる時

長い方の左足に合わせて

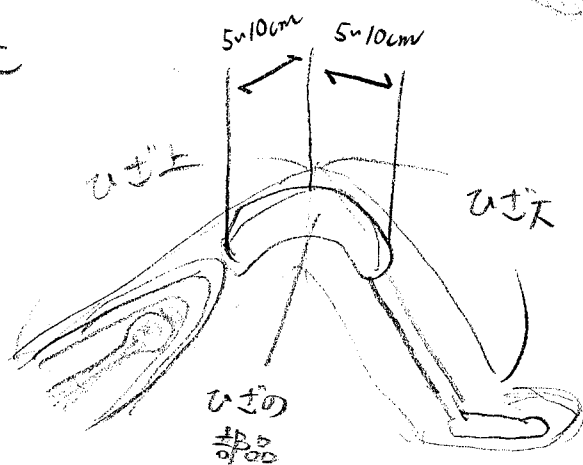
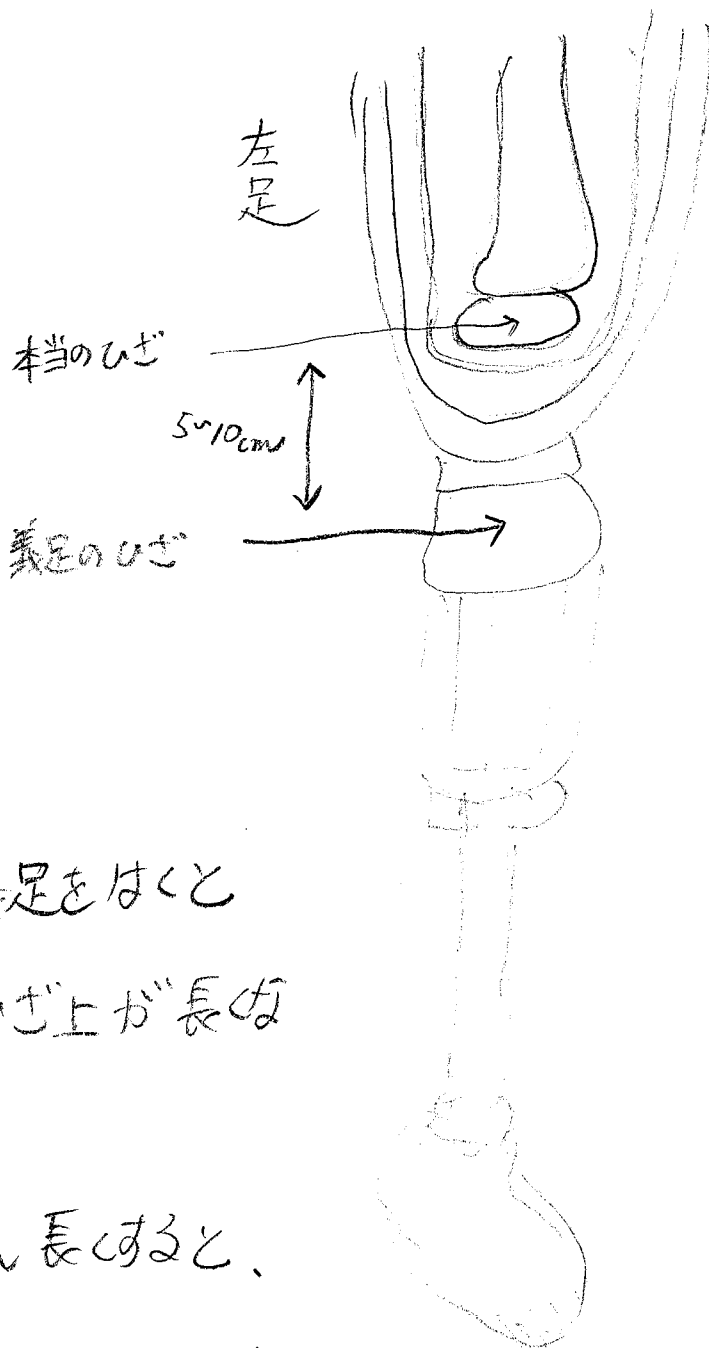
左右のバランスをとるよ。

左足はひざのお皿があるけど、義足をはくと

本当のひざの位置より 5~10cm ひざ上が長くな
ってほうんだ。

それに合わせてひざ下も 5~10cm 長くとると、

合計で 10~20cm 背が高めに
なってしまうんだ。



なんでいつも ニーハイソックスを
はいているの？

ぎくは固い材料や金でできていて、人にあたる
と危ないから、フックシヨンのようなもので外側をカバー
するよ。

えしてその上から肌色のストッキングやタイツを
重ねてはいているんだけど、これがよくわがれちゃう。

わがれるのを防ぐ理由で ニーハイソックスを
はいているよ。

あとは、やはり 少しでも義足の形をなめらかにして
パッとみて目立たないようにもしているよ。

背が高くして立つの大変？
こわくない？

本当は義足の長さは短い方がバランスがとりやすいしこわくないよ。

でも、将来大人になったとき、ひざ上とひざ下のバランスが「いいほうか」
よいので、今は少しムリしてけんしやうしているよ。

年れいがか小さい頃ほど、義足の重さや長さになれしつかいこなす
ようになるのが早いから、あえてムリしているよ。

えらしておかないと大人になったとき急に目線が高くなたり
急に大人用の部品が重くなたりして歩けなくなたりする人も
いるのさ。

だから先のことを考えて、膝だけ足は長く、足全体が
重くなるようにして、えらに慣れようとしているよ。

ねるときは？

お風呂は？

トイレは？

トイレは義足をはいていても大丈夫。かつかと変わちないよ

義足をぬいていても便座にすわれば大丈夫。

でも和式は苦手なんだ。ひざを曲げたまで止まらないからね。

お風呂は義足をぬいてスリます。

義足をぬいていても少しは歩けるよ。

でもあまり歩くと足が痛くなるから注意しているよ。

毎日お風呂で「膝が空でくれる厚いマット」を洗って干すよ。

家ではお風呂に入ってから、おて朝お風呂までの間義足をぬいているよ。

逆にいうとそれ以外はずっと義足をはいているよ。

パジャマはどうしても長いから切ってぬい合わせて使うよ。

できないとはなに？

① ひざを伸ばす力が無い。

重さをおいたり、いきおいをつけたりすると曲がるし、ゴムの力でまたあすどに帰るようになっている。

⇒ コックができない

バタ足ができない

ひざをのばす動きができない。

ひざをのばしてないと
体重を足にかけられない！

② 足くびが動かない。

もちろん 角度がかわらないし、まげのばしもできない。

⇒ 地面をけんない

バタ足のとき足をのばせない

ジャンプができない。

わかってほしいにいいことは？

- ② おとと同じせいで立っているのが かつうより 辛い。
ひざをまげのばしたり、足首で調節したり、休めのせいで苦手だから。
- ② おとと同じせいで座っているのが かつうより 辛い。
いすに座っているとき、つま先が浮いていると座っている間中 重いつらいつらしている感じ。
正座のかわりにする女の子のかわりは、すこく内またになり、義足の同じ部分がかいこまてしまう。
体をのばすかわりは、ひざをかえさないといひざがのびてしまうので手がつかれる。
- ② 雨の日 や でいばい道がこわい、歩きの坂でも大変。
だから片手でもつかい支えようとしても安心できません。
- ② かいだんののぼりおりが大変。
ひざをのばすかわりでかいだんをのぼらず、ひざを曲げた形でかまはれないため、
かいだんに足をのぼるときには必ずひざがまもじたいのびていらないといつかないのて、
かつうにのぼりおりするよりとてもむづかしい。
- ② 床から立ちたり、床にすわたりも大変。
ひざをのばすかわりと足首の力がなから、手の力といまおいかだけて立つ。
あわるときには、立たせいかから一気に地面までおしりがあちなように
一度ひざを片足ずつつかいか座らないと危ないからむづかしい。

ホバーニーソックスは.....

義足のひざの部分も曲げたり伸ばしたりすると
機械のひざ部分にすき間ができて、見た目が不自然に
なるだけでなく、部品のすき間に手などをはさみこ
りリスクが生じます。

それを防ぐため、また見た目の不自然さをもカバーするため、
ホバーニーソックスやタイツを多用しています。

おそらくは他のたいぶりもたくさん

ホバーニーソックス & タイツを履きかえて

おしゃれを楽しみたいようにしています。

くつについて……。

義足のひざは つま先まに体重をかけると
曲がり、かかとに体重をかけると曲がらないようになります。
そのため、かかとが高くなっているくつをはくと ひざが曲がら
なくなります。

そのことを考えて、くつを選ぶときには、なるべくかかと
が高くなっていないくつを履くようにしています。

ただし、義足の部品を交換すれば、くつに合わせてその角度
足自体の角度をネジを回して調節することもできるんです。
自分でできるようにすれば、この間かかとを履けるようになりますが、
今はまだそこまでせず、かかとが高くないくつを選ぶだけ
はしています。

階段を下りるとき……

一歩一歩、下についた足に全体重をかける前に、
義足のひざがしっかり伸びていることとを確認して、
かかとに体重をかけた状態でありながら、ひざが曲がら
ない、階段から転がりおろすリスクがあります。

そのため、安全を考えて、できるだけ両手で手すりを
もって、ひざがカーブが曲がってしまう、その場で
ふみとどまるように気をつけながら階段を下り
るようにしています。

階段をのぼるとき……。

ふつうの人は足の… ひざを伸ばすかと

足首を伸ばすかとして昇りますが、その力が使えません。

なので両手を杖にしっかりと支えて、手のかだけで

身体をおし上げてのぼります。

また、ひざをのばしていないと足が力をかけたときに
曲がってしまうため、工夫しながら歩いたりになります。

荷物も持ちながら階段をのぼるのはとても難しいです。

2段くらいの高めのできない階段は、いきおいをつけて
一気にのぼり上がることは可能だったりします。

プール用の義足は

周りの人にぶつかった時に危なくないように
ウレタンやスポンジを使ったり、見ためでおどろかせ
ないようにタイツやストッキングも使っています。

なので水にぬれたあとで乾くのがおそくて
その時まで3つかを歩くと水びたしたなってしまう
ことがあります。

それを防ぐために、保健室などで一人で
着替えをすることが多くなっています。

また、義足をはきかえるときに広いスペースの床
に座りこんでの作業になることも、大きな理由の一つ
になっています。

プールには

水にぬれても良い義足に履きかえて
スリます。ふだん使っている義足の「ひざ」の部品
が水にぬれるとこわれてしまうためです。

プール用の義足は軽くて水に少し浮くように、
えのかわり ひざが曲がらないようになっていま
す。また、足首が歩き物のように固定されているので
キックの力を水に伝えにくく、逆に抵抗に
なってしまうので、上半身の力だけで前へ進ま
ないといけなくて、かなり大変です。

スピードが不足すると沈んでしまうので
こした浮きをつけて練習をしています。

自転車には.....

かかとが曲がらないので

乗るのが難しいです。

(ペダルが足がはずれかけます。)

スキーは.....

ボーゲンでなく、少し道具を

使えば滑れます。(ひざが曲がらないが

足を揺ると

エッジがまきません。)

なわとびやとび箱は.....

ひざや足首をのぼす力が全くなないので

えもえもジャンプができなくて.....

バネのついた義足を使わないと



難しいです。

パラリンピックの選手みないな..

氣を抜くと ひざが急に
曲がってほたりします。

とくに立って「氣をつけ」の姿勢
は苦手です。

これまた 竹馬で動かずに
バランスをとって立っているのが
難しいのに似ています。

ぎょくも履いているので

ふつより足が重く感じます。

わかりやすく言うと……。

とても重い竹馬にのりて

歩いている感じです。

だから歩くスピードが

普通よりゆっくりでも

走っているくらい

くたびれます。